

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

特集

中期経営計画における

シスメックス3つの成長戦略 …… 5ページ



直接販売・サービス体制に変更したイタリア(ミラノ)

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
 ※2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しています。

売上高・営業利益・当期利益*ともに過去最高を達成しました。



代表取締役社長

浅野 董

あさの かおる
 【出身地】兵庫【略歴】大学院を卒業後、川崎重工業株式会社に入社。その後、1987年東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社し、2009年執行役員中央研究所長、2017年取締役専務執行役員を経て、2023年現職に就任。【趣味】陶芸、将棋【信条】雲外蒼天

ポイント1 売上高は、中国・AP地域が2桁伸長するなど全地域で増収

ポイント2 営業利益は、インフレの影響を受けるも、増収による粗利増加で増益

ステークホルダーの皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2024年3月期通期の業績は、現地生産を推進した中国および新興国を中心に伸長し、全地域で増収を達成しました。営業利益は、インフレなどの影響を受けるも、増収に伴う粗利の増加により、増益となりました。売上高は前年同期比12.4%増、営業利益は同6.4%増、当期利益は8.4%増となり、いずれも過去最高を達成。

事業別で見ると、ダイアグノスティクス事業は、中国でヘマトロジー分野*の機器の現地生産が進展し伸長したほか、各地域で複数分野の機器設置台数が増加。これを受けて尿・血液凝固・免疫検査分野の試薬も伸長しました。メディカルロボット事業は、手術支援ロボット「hinotori™」サージ

カルロボットシステム」のバージョンアップモデルを評価いただき、2024年3月期は20台が導入されました。累計症例数は4,225例となり、手術数も順調に推移しています。また今期は呼吸器外科への適応が承認されたことで、さらなる症例数の増加が期待できます。

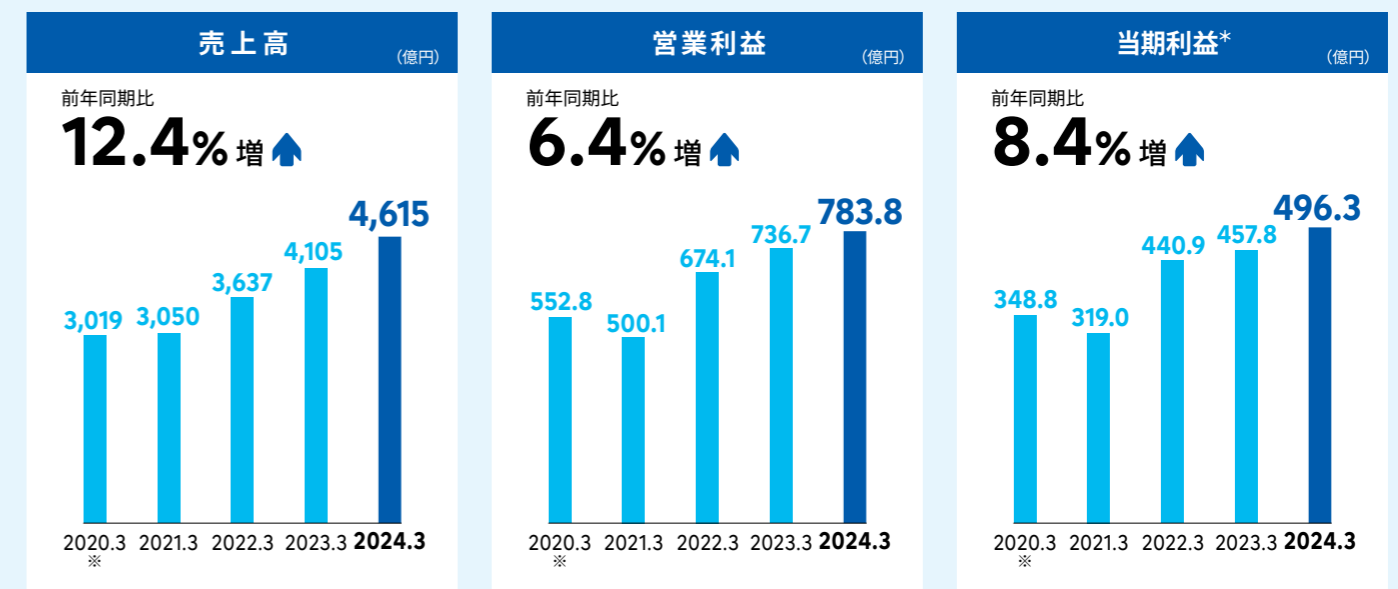
2025年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は5,100億円、営業利益は870億円、当期利益は550億円を見込んでいます。*

配当につきましては、2円増配し、1株につき年間30円を予定しております(分割前ベースで6円の増配)。

ステークホルダーの皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

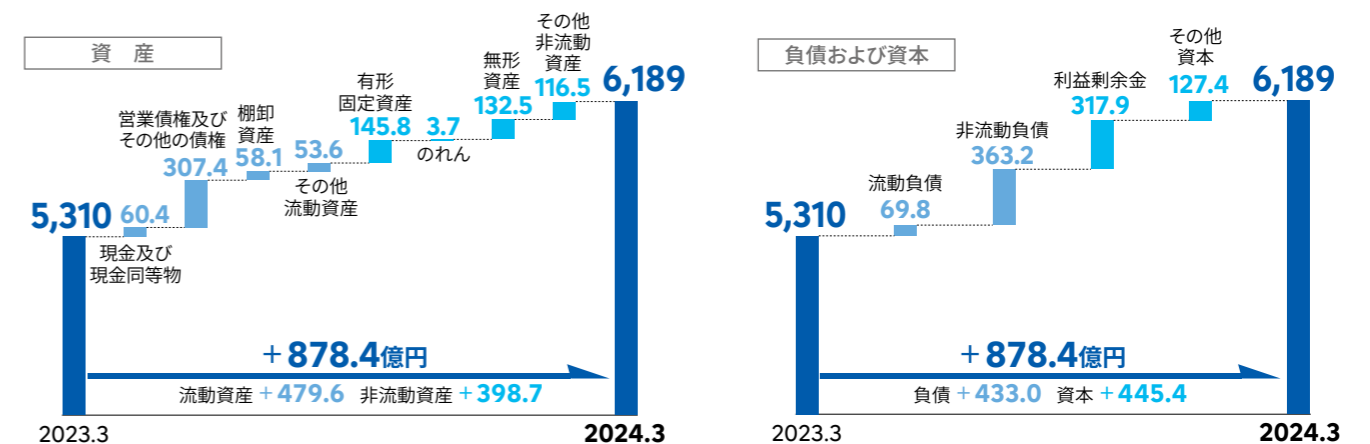
※ 想定為替レート：1USドル=147.0円、1ユーロ=158.0円、1中国元=20.4円で算出

*当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益。



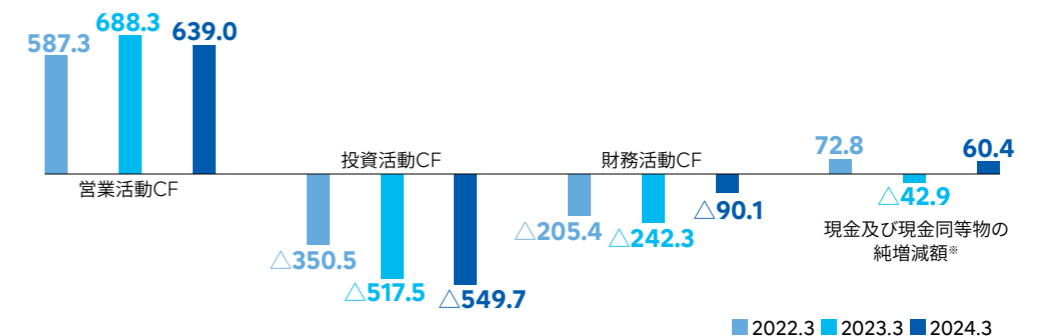
※会計方針変更前

連結財政状態計算書の増減要因 (億円)



キャッシュ・フローの推移 (億円)

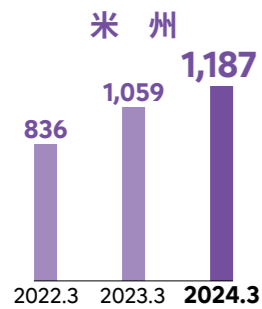
※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。



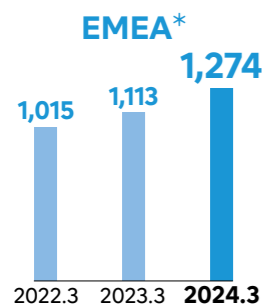
利益配分(配当)に関する考え方について: 当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

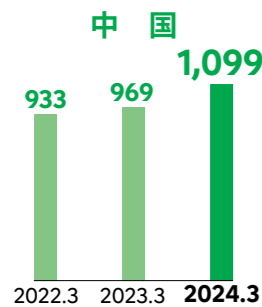
地域別売上高 (億円)



前年同期比 **12.2%増** ↑
 ブラジルなど中南米を中心にヘマトロジー・尿検査分野の機器が伸長した他、試薬も北米・中南米ともに好調に推移し、増収

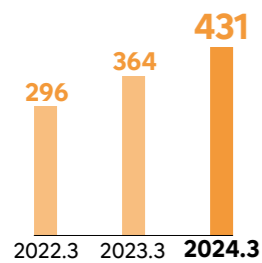


前年同期比 **14.5%増** ↑
 ロシアの大幅減収など特殊要因の影響があったものの、直販化したスペインやサウジアラビアなどを中心に、ヘマトロジー分野が伸長。さらに、尿・血液凝固検査分野も堅調に推移し、増収

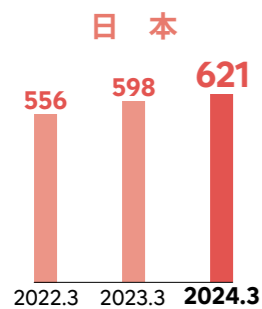


前年同期比 **13.5%増** ↑
 検査数の回復や現地生産品の拡充によるヘマトロジー分野の伸長に加え、尿・血液凝固検査分野の試薬も2桁伸長し、増収

アジア・パシフィック

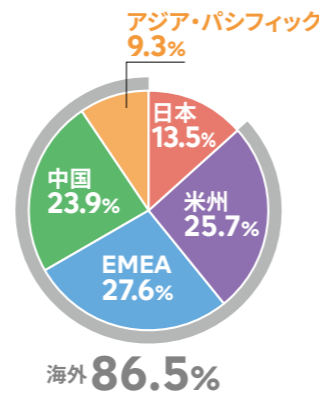


前年同期比 **18.1%増** ↑
 インドや韓国、フィリピンなど東南アジアにおいて、ヘマトロジー分野が伸長した他、医療インフラ投資が継続した影響もあり、2桁増収

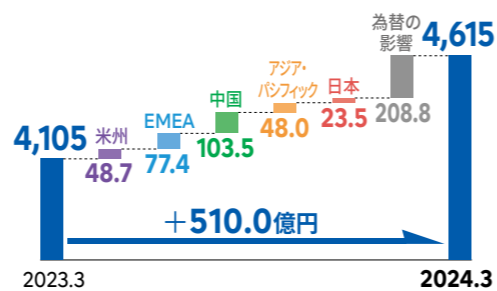


前年同期比 **3.9%増** ↑
 COVID-19関連検査需要が減少するも、ヘマトロジー・尿検査分野を中心に機器が好調に推移。メディカルロボット事業も今期20台を導入し、増収

地域別売上高構成比



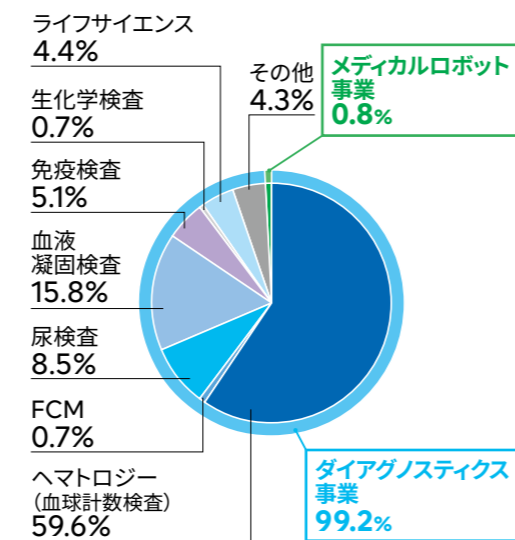
地域別売上高の増減 (億円)



為替レート (円)

	2022.3	2023.3	2024.3
1 USドル	112.4	135.5	144.6
1 ユーロ	130.6	141.0	156.8
1 中国元	17.5	19.8	20.1

事業別売上高構成比



技術説明会のスクリプトはこちらからご覧ください



第21回技術説明会を開催、「タッチフリーコンセプト」第2弾を発表

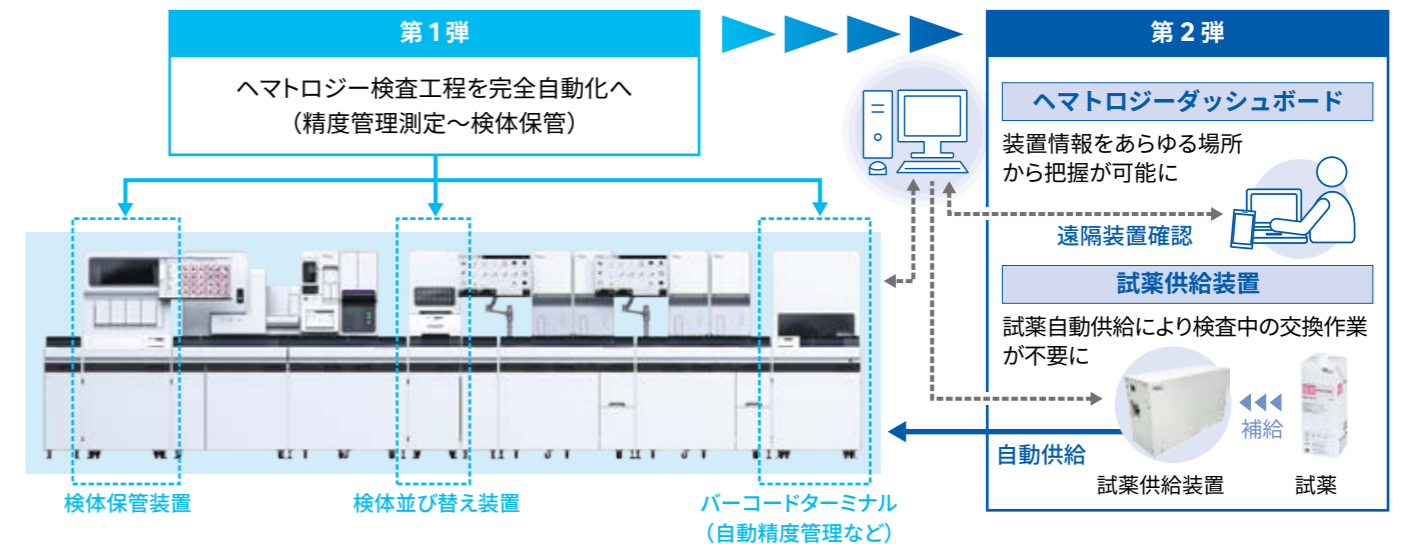
シスメックスはステークホルダーの皆様へ研究開発の取り組みをご説明する技術説明会を定期的に開催しており、今回で21回目を迎えました。今回の株主通信ではそのプレゼンテーションの中から、グローバルシェアNo.1を誇るヘマトロジー分野の取り組みをご紹介します。

シスメックスはヘマトロジー分野において、これまで「操作しやすい装置」の開発に注力してきましたが、現在はさらなる進化のために「タッチフリーコンセプト」を掲げ、「操作しない装置」の開発を推進しています。一例としては、大手

検査センター向けに、検査中の試薬交換が不要になる試薬供給装置を開発。従来、大規模な検査センターでは1日に約40回の試薬交換および検査の中断が必要でしたが、本製品により試薬の自動供給と検査終了後の一括交換が可能になり、大幅に作業効率が改善しました。このほかヘマトロジーダッシュボードの開発により、遠隔で検査機器の状態把握も可能になりました。シスメックスは、今後もこのコンセプトを他分野へ展開し、グローバルに検査室の効率化や人員不足などの課題解決に貢献していきます。

■タッチフリーコンセプト

「操作しやすい装置」から「操作しない装置」へ



世界フィギュアスケート選手権女子シングルにて、坂本花織選手が日本人初の3連覇を達成!

2024年3月にカナダ・モントリオールで開催された「ISU世界フィギュアスケート選手権大会2024」の女子シングルでシスメックス フィギュアスケートチームの坂本花織選手が優勝。本大会3連覇は日本史上初、女子シングルでは56年ぶり8人目の偉業となります。皆様も坂本選手にあたたかい応援をいただき、ありがとうございました!



WEB会社説明会オンデマンド配信のご案内

当社の事業概要から今後の成長戦略までを幅広くご理解いただくため、2024年5月にWEB会社説明会を実施しました。現在この説明会のオンデマンド配信を行っていますので、是非右記よりご覧ください。



こちらからご覧いただけます



*EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。

中期経営計画における シスメックス3つの成長戦略

シスメックスは中期経営計画(2024年3月期~2026年3月期)において、さらなる成長へ向けた3つの戦略を発表し、それらの達成に向けて取り組んでいます。今号から3回にわたり、各戦略とその具体的な取り組みをご紹介します。

今回ご紹介するのはこちら


次回の株主通信にて詳しくご紹介

成長戦略 1
既存事業の強化



血液凝固検査・免疫検査・ライフサイエンス分野の強化による売上伸長・収益性の改善

成長戦略 2
新規事業の拡大



メディカルロボット事業および再生細胞医療など新たな事業を拡大・強化

成長戦略 3
新興国戦略



経済水準・医療品質の向上により、市場成長が見込まれる地域へ積極投資し、機会を獲得

成長戦略 1 既存事業の強化



3分野を重点的に強化

- 血液凝固検査
- 免疫検査
- ライフサイエンス

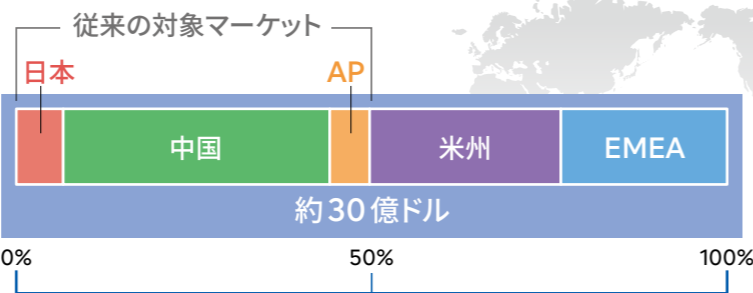
シスメックスは、体内から採取した血液や尿、唾液などを検査する「ダイアグノスティクス事業」をメインに展開しています。今後は収益の主軸を担うグローバルシェアNo.1のヘマトロジー分野に続き、さらなる売上伸長・収益性の改善を見込める血液凝固検査・免疫検査・ライフサイエンス分野の3つの分野を重点的に強化していきます。

血液凝固検査 欧米における血液凝固検査分野の直接販売を開始

凝固検査は血液を固めたり、溶かしたりする働きを調べる検査で、心筋梗塞の診断や手術前に血液の固まりやすさを確認する目的などで用いられます。

シスメックスは、1995年より米国のSiemens Healthineers社とアライアンスを結び、両社あわせてグローバルシェアNo.1を獲得してきました。これまでのアライアンスでは、両社が地域を分担して販売していましたが、2023年の契約更新にてテリトリー分けを廃止、機器と試薬を相互に供給し、各々のブランドとしてグローバルに販売していくことになりました。

これにより、2024年4月からはシスメックスの販売地域が、欧米市場などへ広がります。さらに、機器だけでなく、利益率の高い試薬を新たな地域で販売していくことで収益性の向上も目指していきます。



2024年4月以降の対象マーケット

シスメックスが対象とする市場が約2倍に広がり、売上伸長が期待されます。

免疫検査 ユニークな検査項目を強みに、グローバル展開を推進

血液中のタンパク質やウイルス・ホルモンの状態などを調べる免疫検査は、検体検査市場において最大規模の分野です。シスメックスは、免疫分野において製品の特長を活かしたユニークな試薬項目の開発に力を入れてきました。その一環として、微量の血液からアルツハイマー病の原因とされるタンパク質の蓄積状態を調べる検査試薬を開発・販売しました。従来のPET検査や髄液検査に対して患者さんの負担を減らし、受診機会を拡大することで早期診断・治療につながることを期待されています。当社はこのアルツハイマー病検査試薬の米国・欧州への販売を皮切りに、これまでアジア中心であった免疫検査分野の事業を、本格的にグローバル展開していきます。今後は、各地域において薬事承認取得や保険収載など、普及に向けた取り組みを積極的に推進していきます。

機器

- わずか17分の迅速測定
- 高感度
- 微量検体



全自動免疫測定装置


試薬

- ユニークな試薬ラインアップ



検査試薬

認知症への取り組みの詳細はこちらをご覧ください。



<https://www.sysmex.co.jp/dementia/index.html>

ライフサイエンス 強みのある製品で収益性を向上

シスメックスは、2000年からがん遺伝子検査を中心としたライフサイエンス分野へ参入し、OSNATM法^{*}を用いたがんリンパ節転移診断システムなどの技術を開発し、製品へ展開してきました。今後は、すでに一部地域において安定的な収益をあげている上記システムやPCR検査などの製品をグローバル展開することで、さらに収益性を向上させていきます。また、医療機関などから検体を受託して結果をお返りするラボアッセイ事業から、検査キットビジネスへのシフトに加え、オープンイノベーションによる事業拡大を進めていきます。


事例 オープンイノベーションによる研究開発の加速

がんゲノム医療は、高額で検査手順が煩雑なため、使用される医療機関が限定されています。この課題を解決するために、短時間かつ低コストな、医療現場で使いやすい新たな遺伝子検査システムの共同開発に向けて、日立ハイテック社と合意しました。疾患ごとに適した遺伝子解析を、より多くの医療機関で活用いただくことを目指しています。

ゲノム医療の課題

- 検査コストが高額かつ検査法が煩雑であり、汎用性に欠ける
- ゲノム検査を実施できる医療機関が限定的
- 多量な情報を十分に臨床応用できていない

協業による新たな製品開発を推進



- 高品質な機器設計技術
- 機器・試薬の同時開発
- グローバル販売網
- NGS^{*}試薬開発技術
- NGS解析技術
- 高性能な装置設計技術
- キャピラリー電気シークンサー技術・装置

より多くの医療機関で
利用可能な遺伝子検査システム
を創出!

Next Report

次回の株主通信では、[新規事業の拡大]についてご紹介いたします。どうぞお楽しみに!!

^{*}OSNA(One-Step Nucleic Acid Amplification)法: 前処理工程の一部である核酸の抽出・精製が不要で、ワンステップで遺伝子増幅を可能とするシスメックスが開発した技術。

^{*}NGS(次世代シーケンサー)法: 遺伝情報を持つDNAの塩基およびこの配列を、同時並行で大量に読み取る解析装置。

会社概要 (2024年3月31日現在)

- 商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
- 設立年月日 1968年2月20日
- 資本金 147億2,980万円
- 格付け AA- (R&I:格付投資情報センター)
- 従業員数 11,012名(連結) 3,266名(単独)
*嘱託・パートタイマーなどを含む
- 主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売
・輸出入

■役員 (2024年6月21日現在)

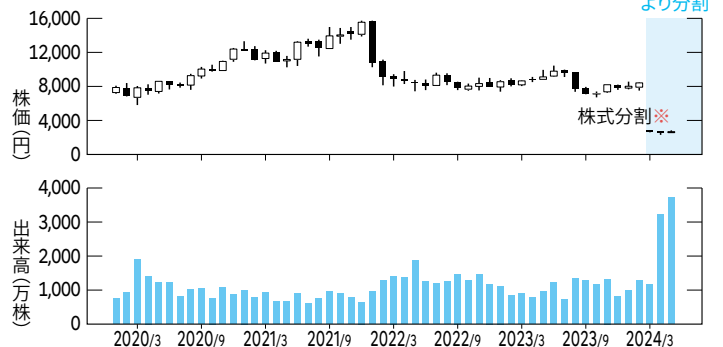
代表取締役会長 グループCEO	いえ つか 家次	ひさし 恒
代表取締役社長	あさの 浅野	かおる 薫
取締役 専務執行役員	たちばな 立花	けんじ 健治
	まつい 松井	いわた 石根
取締役 常務執行役員	よしだ 吉田	ともかず 智一
	おの 小野	たかし 隆
社外取締役	おおた 太田	かずお 和男
	いのう 井上	はるお 治夫
	ふじ 藤岡	ゆか 由佳
取締役 (監査等委員)	あらまき 新牧	ともお 智夫
社外取締役 (監査等委員)	はしもと 橋本	かずまさ 和正
	いわさ 岩佐	みちひ 道秀

上席 執行役員	いいづか 飯塚	けんすけ 健介
	フランク Frank Buescher	ブッシュャー
	かながわ 金川	みつひさ 晃久
執行役員	ホウ 彭	サク 作輝
	Alain Alain Baveler	バベルレル
	わたなべ 渡辺	れいこ 玲子
	わたなべ 渡辺	かおる 薫
	ながい 長井	たかあき 孝明
	うち橋 内橋	きんや 欣也
	アンディー Andy Hay	ヘイ
	まつお 松尾	なほひこ 直彦
	つじもと 辻本	けんじ 研二

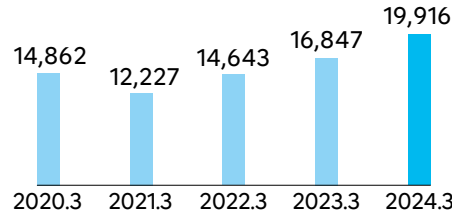
株式の状況 (2024年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 1,796,064,000株
- 発行済株式総数 629,371,116株

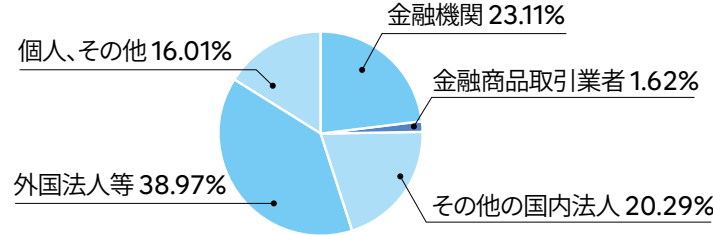
■株価・出来高の推移 (2024年5月31日現在)



■株主数の推移 (人)



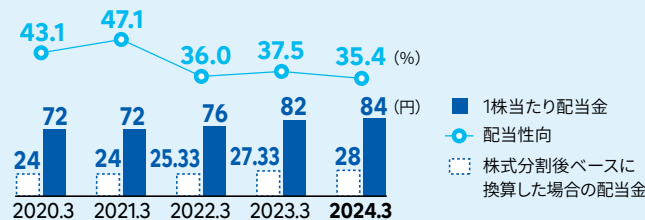
■株式の所有者別状況



株式分割のお知らせ

株式の流動性向上により投資家層の拡大を図るため、2024年3月31日(基準日である3月31日は休日のため、実質的には3月29日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主様の所有1株につき、3株の割合をもって分割いたしました。

■1株当たり配当金/配当性向



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 - 定時株主総会 6月
 - 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。電子公告掲載ホームページアドレス
www.sysmex.co.jp/ir/stocks_bonds/notice.html

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

